

平成22年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実績

分野	NO.	取組名	関係課	関係者	実施主体	実施計画	実施スケジュール	財源の確保	実施の方針	進捗状況・実績 (事業効果)	備考
環境	1	水草肥料化調査	町民課		東郷湖の水質浄化を進める会	東郷湖に繁茂する「ホザキノフサモ」を刈り取り、肥料として活用することで、東郷湖の水質浄化を図る。 水草の発生量及び刈取可能量は、広く有機肥料として活用するには不足するため、環境教育や環境保全への啓発として効果的な活用をおこないたい。 また、平成21年度、水草肥料を協力農家・役場庁舎の梨に利用した結果は、引き続き関係機関の協力を得ながら観察していく。	8月・・・漁協、農協、農業団体等の協力依頼。協力ボランティア募集。 9月下旬・・・刈取り実施(刈取り・陸揚げ・乾燥) 10月・・・利用者へ引き渡し(袋詰め)	鳥取県環境立県協働促進事業補助金(自然環境創造支援事業 60万円の1/2補助) 実施主体:東郷湖の水質浄化を進める会 内訳 刈取り漁船借り上げ料 消耗品費	関係機関と協議しながら、フサモの刈取り時期や効果的な活用方法について検討していく。	鳥取県環境立県協働促進事業補助金 交付が決定 *フサモ刈取り打ち合わせ会(水質管理部会)の9月3日(金)実施。 調査の結果、池内のフサモ量、今年度は少なくなっていることが判明。 フサモの刈取り10月2日(土)に実施。 刈取量2t(今年度はフサモ発生量が例年より少ないため、刈取量を抑えて実施) 参加 79名 漁船10隻 フサモ乾燥作業10月4日(月)に実施。 参加 48名(保育所・幼稚園児童) 再利用 乾燥させて肥料として保育所等で利用 1t パーク材に再利用 1t 枯れて沈殿すれば水質悪化を招く水草をボランティアの手により池外へ搬出した。 今後も関係機関と連携を取りながら、池内のフサモ発生量等を考慮し、生態系に影響を与えないよう注意しながら、浄化のための刈取りを実施する。 鳥取県環境立県協働促進事業補助金 実績報告 事業費 189,343円(補助金189,180円 町・県各1/2)	
	2	魚道設置試験	町民課			候補となる区域がなく、平成22年度未実施とする。				今年度、実施予定なし。	
	3	東郷湖を守るアダプトプログラム制度の導入	町民課		東郷湖の水質浄化を進める会	東郷湖の景観環境を守り育てるため、地域住民、事業所、ボランティア団体、女性会、高齢者団体、学校PTA、保育所保護者会等の協力を得て、清掃・ごみ拾い等の美化活動を奨励する。	団体募集・・・年間活動状況の確認	鳥取県環境立県協働促進事業補助金(自然環境創造支援事業 60万円の1/2補助) 実施主体:東郷湖の水質浄化を進める会 内訳 啓発看板作成費用 清掃活動消耗品購入費用	町報・ホームページ等を利用してボランティア活動を周知する	鳥取県環境立県協働促進事業補助金 交付が決定 12月末現在 参加団体21団体 啓発看板(アダプトサイン)新規設置2カ所 それぞれの団体が年間2回を目標に活動を行っている。 実績報告3月予定。 ボランティアの清掃活動により、池周辺の環境美化が推進されている。 ■参考(平成21年度) 清掃回数のべ48回 参加者のべ600人 平成22年 町報6月号で各団体の活動範囲・平成21年度の活動状況について紹介。引続き活動について周知を行っていく。 3月末現在 参加団体22団体 平成22年度 活動実績 清掃活動のべ53回 参加者のべ717人 ボランティアの清掃活動により、池周辺の環境美化が促進された。 活動実績や団体の紹介については、平成23年6月の町報にて紹介を行う。	

平成22年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実績

分野	NO.	取組名	関係課	関係者	実施主体	実施計画	実施スケジュール	財源の確保	実施の方針	進捗状況・実績 (事業効果)	備考
環境	4	水質浄化覆砂事業及び効果検証	建設水道課		鳥取県	水質悪化の原因となるヘドロを砂により封じ込めることにより、透明度の拡大、貧酸素影響の低減、悪臭発生の減少等の水質環境の改善を図る。 計画・覆砂効果の検証試験 実施・約3万㎡の河川工事(北条川放水路事業)で発生する残土を利用し、水深3.5m以上の区域に厚さ30cm程度の覆砂を実施する。	覆砂事業:H21~22年度 効果検証:H21~24年度	(県事業)予算額:約200百万円 (県事業)予算額:約6百万円		☆覆砂工事を12月に完了した。 (V=15, 500m3、C=約100百万円) 21年度の14,750m3と併せ、計30,250m3。 ☆効果検証に向けての調査を実施中。 (平成22年度は4回実施。C=約5百万円) ※調査結果を踏まえ、次年度に効果の発表を予定。 現時点では以下のとおり。 ・底質の全窒素、リンの減少が見られる。 ・シジミの稚貝が確認された。 ・水質については局地的な変化はなし。	・平成21年度から県事業として実施。 ・平成23年度も効果検証事業を実施。
	5	シジミの生息環境改善対策	産業振興課	町鳥取県	漁協	シジミの生息環境を改善し、シジミの増殖につなげるため覆砂を実施する。 実施方法は、漁協・県・町で協議する。	漁協・県・町が協議	町単独費(町1/3)、漁協2/3	現時点において、砂の確保が確定していないため、予算未計上。砂確保が決定すれば補正計上し、実施する。	9月補正に計上。漁協が主体となり10月に実施、11月30日に完了。 継続して実施することで効果が現れる事業のため、県と漁協が協議を実施し、次年度の砂の確保に向けて対応。	※次年度以降も砂が確保できれば実施を検討する、という前提。
	6	内水面の環境保全	産業振興課	町鳥取県	漁協	東郷池クリーンアップ事業(湖面周辺清掃)	東郷池クリーンアップ事業は9月~10月頃に実施予定	東郷池クリーンアップ事業(内水面魚場環境保全事業 県1/3 町1/3 漁協1/3)	東郷池クリーンアップ事業は9月~10月頃に実施予定。	漁協が主体となり10月に実施、11月30日に完了。 継続して実施することに意味があるため、次年度にも実施要望あり。	平成23年度で、廃止も視野に県事業見直しが確定しており、規模縮小か継続困難になる可能性あり。
	7	稚魚放流調査	企画課	企画課	企画課	頑張る地方応援プログラム事業が平成21年度で終了したが、サケの飼育放流プロジェクトに町として協力参加する。活動状況はホームページ等で紹介し、環境浄化に向けた啓発と、東郷湖活性化プロジェクト事業の取り組みを広く宣伝する。	プロジェクト参加 12月~3月 町で稚魚飼育 3月中旬 放流	既定予算で対応	3月中旬放流予定	◆平成22年12月11日(土) 発眼卵受取。 (同日からふ化し始める) ◆町(役場、東郷支所、橋津保育所、松崎幼稚園等)で稚魚飼育。 ◆3月10日(木)~13日(日)にかけて、東郷池、天神川で放流。	平成22年11月下旬頃から東郷川への遡上が確認された。
観光	8	湖産物料理メニュー化促進	産業振興課	湯梨浜町商工会地域活性化委員会	湯梨浜町商工会地域活性化委員会	現時点で、特段の新規実施メニューなし。 新たな湖産物料理メニュー化について、町商工会等と検討していく。				特に進展なし。 町が共催となり、商工会が主催の「ゆりはまだ漁まつり~地産地消ゆりはま市~」を11月3日(水)に泊漁港にて開催。出店品の販路拡大や住民等への地域産業に対する認識を深めてもらうとともに、地域の活性化を図った。 約1,000名が来場。鯉を活用した「鯉めし」の販売を実施。	商工会ホームページに「しじみ料理のレシピ」を掲載し、販売促進・PR活動を実施している。
	9	観光客誘致	産業振興課	はわい温泉・東郷温泉旅館組合	はわい温泉・東郷温泉旅館組合	はわい温泉・東郷温泉旅館組合事業で、冬季の誘客事業「カニバス」を実施予定。	平成22年12月4日~平成23年3月31日実施予定。	はわい温泉・東郷温泉旅館組合事業で実施	カニバスツアーを従来どおり実施する。	今年度はH22.12.18~3.31実施。松崎地区の団体と連携し、街あるき新聞を作成・配付。旅館のみならず施設や飲食店への波及効果を狙う。昨年に引き続き顧客アンケートを実施。(4,000名)※H21は4,400名であり、400名減。ただし、運営期間が短いため実質的な乗車率は変わらなかった。	顧客アンケートを実施し、内容分析を行い、ステップアップを図る。
	10	特産品販売促進活動	産業振興課	産業振興課	産業振興課	県や観光連盟等県全体の魅力を集約したものひとつとしてイベントに参加するという形で、来場者への魅力創出を図る。 ○町内の特産品を活用した土産物を開発する事業を町観光協会の地域づくりプランナーと連携し、展開する。	通年	町特産品PR事業として、旅費、販売促進チラシ印刷等420千円計上。その他、観光協会、とっとり梨の花温泉郷事業等経費で対応。	既定経費で対応。 町単独事業として、東京や関西地区など効果の上がることを考慮に入れ、販売促進活動を検討していく。	■鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」湯梨浜町キャンペーン [期間]H22.9.3~5 [内容]二十世紀梨を中心とした町特産品の試食販売、お楽しみ抽選会による町特産品贈呈、観光パンフレット配布及び観光宣伝活動を実施。(町単独事業) ■町観光協会地域づくりプランナーを中心に町内の産品(梨シロップ、梅漬け汁、甘酒、醤油、梨パウダー)を使った菓子等を各方面に持ち込み、試作を実施した。3/22に試作品の試食会を実施。次年度の商品化に向け検討を継続する。	

平成22年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実績

分野	NO.	取組名	関係課	関係者	実施主体	実施計画	実施スケジュール	財源の確保	実施の方針	進捗状況・実績 (事業効果)	備考
観光	11	観光商品造成戦略活動	産業振興課	産業振興課	産業振興課	観光商品造成戦略会議や町観光協会地域づくりプランナーと連携し、新たな観光資源の掘り起こしに努める。既存観光商品である今滝「滝床料理」企画、東郷梨選果場見学ツアー、野花梅溪散策ツアーの継続宣伝や維持に努めるとともに、新たな観光商品の造成を図る。	通年	観光商品造成戦略会議報償費 2,400円×7人×3日=50,400円計上。 地域づくりプランナー事業 4,420,000円×2名=8,840,000円	既定経費で対応。 ※既存の着地型観光商品宣伝(情報説明会、観光客誘致宣伝キャラバンの実施)及び維持 ※新たな着地型観光商品造成	■観光客誘致宣伝キャラバン [H22. 4. 5~7] 香川・高知・愛媛・広島県旅行AGT訪問 ■既存着地型観光プランの実施 [滝床料理] 31団体896人受入 [梨選果場見学] 2団体54名受入 [野花梅溪散策ツアーの実施:3月174名受入] ■新たな観光商品造成 進捗なし。既存メニューの拡充(滝床増床等)を図った。	
	12	観光客誘致		燕趙園	燕趙園	燕趙園を発着とした東郷池遊覧を実施する。池から見る燕趙園や池周辺の景色、歴史をガイドの解説とともに楽しんでいただく。	4月4日(日)~11月28日(日)の期間中、毎週日曜日 ※12月~3月は運休	燕趙園事業で実施		平成22年度(4月~10月) 大人 71名、小人 2名	【参考】 平成21年度(4月~10月) 大人 86名、小人 3名
	12-1	観光客誘致	産業振興課	燕趙園	燕趙園	平成23年4月に燕趙園が「道の駅」として登録される運びとなり、地域の拠点施設として活性化を図り、観光客増を図る。	平成23年1月~		道の駅燕趙園の振興について、農産物や加工品、商品の販売拡充など、拠点施設として情報発信するため、まずは道の駅燕趙園活性化意見交換会を1/17に開催し、集客増を目指し施策を展開していく。 ※参集者:燕趙園、JA、商工会、龍鳳閣、担い手協、各加工グループ、県、町	道の駅燕趙園活性化意見交換会 平成23年1月17日開催。	
	13	ハワイトライアスロン湯梨浜	産業振興課	ハワイトライアスロン湯梨浜大会実行委員会	ハワイトライアスロン湯梨浜大会実行委員会	東郷池の魅力向上、観光振興、地域の活性化に向けた取り組み。 東郷池及び東郷池周辺を活用し開催。 【一般、千葉県中国ブロック各県代表者選考会、日本学生選手権大会中国地区予選会】 スイム1.5km・バイク40km・ラン10km 定員 300名 【ジュニアA:中学生】 スイム0.375km・バイク11.5km・ラン2.5km 定員 30名 【ジュニアB:高校生】 スイム0.75km・バイク23km・ラン5km 定員 30名	5月22日(土)開会式 5月23日(日)レース開催	寄付金、補助金、参加費等	大会実行委員会を立ち上げ実施。	平成22年5月22日開会式(アロハホール) 5月23日レース開催(夢広場発着、東郷湖周) 選手エントリー 299名 町民ボランティア 440名 大会スタッフ 160名 ※町内宿泊施設利用者数、町の観光振興への寄与、湯梨浜町の県内外への情報発信など分析し、検証していく必要がある。 H22 町内宿泊者数 155人(事務局受付 34人)	
	14	湯梨浜夏まつり	企画課	湯梨浜夏まつり実行委員会・燕趙園	湯梨浜夏まつり実行委員会・燕趙園	地域に根付いた伝統行事や湖上花火大会など東郷池の魅力向上を図るとともに、地域活性化及び観光振興に向けた取り組みを実施する。	①水郷祭 7月20日(火) ②はわい温泉まつり 7月24日(土) ③燕趙園花火 8月14日(土)・15日(日)	補助金、寄付金等	実行委員会で祭りの内容等を決定、実施する。	①水郷祭 平成22年7月20日(火) ②はわい温泉まつり 平成22年7月24日(土) ③燕趙園庭園花火&ライブ 平成22年8月14日(土)、15日(日) 予定どおり実施。	
	15	中華コスプレプロジェクト		中華コスプレ大会事務局	中華コスプレ大会事務局	湯梨浜町及び東郷湖畔にある中国庭園「燕趙園」の認知度を高めていくとともに、温泉地を中心とした観光振興等幅広い波及効果を期待する。	中華コスプレ日本大会 5月22日(土) 撮影会等 5月23日(日) コンテスト	寄付、補助金、参加費等	全国から参加者を募り、湯梨浜町をPRする。	第8回中華コスプレ日本大会 平成22年5月22日(土)、23日(日) 実施。 約80名参加。 第3回中華コスプレアジア大会 平成22年10月23日(土)、24日(日) 実施。 約140名参加。	
	16	東郷湖ドラゴンカヌー大会		東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会	東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会	東郷池の魅力向上、地域活性化、観光振興に向けた取り組みを実施。	平成22年8月22日(日)開催	寄付、補助金、参加費等	各種の部門設定により、幅広い参加者を募り湯梨浜町をPRする。	第10回東郷湖ドラゴンカヌー大会 平成22年8月22日(日) 実施。 102チーム参加。	

平成22年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実績

分野	NO.	取組名	関係課	関係者	実施主体	実施計画	実施スケジュール	財源の確保	実施の方針	進捗状況・実績 (事業効果)	備考	
産業	17	水源域森林育成作業	産業振興課	産業振興課	産業振興課	緑の産業再生プロジェクト事業による除間伐等の森林整備及び竹林整備事業の推進による森林環境の健全化を図る。	通年	森林環境保全税等の補助事業を活用	森林組合などとも連携し、森林、竹林所有者へ広報、PR強化していく。	泊、東郷地区を主として、緑プロ事業による間伐12ha、竹林整備事業によるタケノコ竹林等約1ha、竹林を整備してクヌギ分収造林(森林組合)1.6haなど森林環境の整備事業を実施。森林の土壌が健全に保たれることにより、雨水の浸透量や保水量も多くなるため、水源涵養機能の維持、増進。及び生物保全機能の保全を図る。		
	18	エコファーマーの推進	産業振興課	営農センター、倉吉農業改良普及所	生産者	環境にやさしい農業を営む農業者の認定推進。東郷池の水質にも影響がある化学肥料や農薬の低減につなげていく。	継続的に周知、指導を行っていく		将来的には「鳥取県特別栽培農産物認証制度」の特別栽培農産物への認証に向けて、レベルアップし、継続して推進を図っていく。	エコファーマーの認定者が1,107名(平成21年度末現在)。JA栽培暦(防除暦)が減農薬・減化学肥料のものに変更されており、JA中心に「鳥取県特別栽培農産物認証制度」の特別栽培農産物への認証に向けて、レベルアップし、継続して推進を図っている。	果樹園でも農薬の流れ出しの防止等、継続的指導する。(JA方針)	
資源	19	観光ルート整備	建設水道課	建設水道課	建設水道課	今滝へ大型観光バスでの乗り入れを可能とするため、町道今滝線の改良を実施する。	4月測量設計発注、10月以降に工事発注予定、年度内完成予定。	地域活性化・経済対策臨時交付金で対応。観光ルート整備事業39,000千円	既定予算で対応。	・測量設計業務について、10月に完了した。 ・改良工事について、3月30日に完成した。	平成23年度については、地籍調査のため事業休止。	
	20	東郷荘絵図活用導入事業	生涯学習人権推進課	生涯学習人権推進課	生涯学習人権推進課	●調査研究事業 東京大学史料編纂所との古地図に関する共同研究を継続 ●冊子「東郷湖周辺の文化財」改訂版作成事業 既刊「東郷湖周辺の文化財」の改訂版を作成、発行	●調査研究事業 H22は東郷地域の絵図調査(絵図のデジタル化作業を予定) ●冊子「東郷湖周辺の文化財」改訂版作成事業 年内発刊を予定	既定予算で対応	「東郷湖周辺の文化財」の一部内容改定については、編集作業を町文化財保護委員も交えて実施	・東京大学史料編纂所の調査は7月に実施し、デジタル化に向けて作業中。 ・冊子「東郷湖周辺の文化財」は1月に発注、3月発行した。(2,000部) ・10月から11月にかけて実施された県立博物館特別展「海と生きる」に東大の絵図が展示され、見学会を実施した。		
	21	東郷湖活性化シンポジウム	企画課	推進会議	推進会議	平成21年度、湯梨浜町合併5周年記念式典と同時開催。東郷湖活性化へ向けた取り組みを広く町民に周知した。今年度以降の開催については、取り組みの状況を踏まえ検討する。				今年度、実施予定なし。		
	22	東郷池口ハスプロジェクト	企画課	旅館組合・漁協・ネットワークはなみ・松崎おもしろ街づくり集団	東郷池口ハスプロジェクト実行委員会	地方の元気再生事業(国庫)が終了。個別事業については、個々で発展的に実施する。					松崎おもしろ街づくり集団では、地域で取り組んでいた三八市の活性化と空き家の活用を図った。	
	23	ゆりはま塾	企画課	企画課	企画課	町の歴史、伝統、自然等について学びながら、後世に語り継ぐ人材を育成するため、「ゆりはま塾」を開講する。 ※東郷池を中心とした町の歴史、伝統、自然等	年4回予定 ①6月 ②10月 ③1月 ④3月 年3回以上の開催	既定予算で対応	(1)町の歴史に関する講座 (2)町の伝統に関する講座 (3)町の自然に関する講座 (4)その他の講座	第5回塾 7月:中近世の泊歴史探訪(泊浦と河口城) 講師 橋本 是(元泊村漁協組合長) 宮川 紳(役場企画課副主幹) 参加者 23人 第6回塾 11月:染色体験、陶芸体験 講師 山口先生(茜工房) 大庭先生(湯梨浜焼東郷窯) 参加者 5人 第7回塾 3月:歴史講演会 講師 田村先生(淀屋牧田家再生プロジェクト会長) 参加者 27人	ゆりはま塾生だけの講座を開催するのではなく、一般参加者も参加できる講座を開催し、広く町民に湯梨浜を知っていただく。	
24	藤津公園の地盤沈下対策	建設水道課	鳥取県	鳥取県	関係団体からの要望等を概略設計に盛り込み、その内容を元に平成22年度中に詳細設計を済ませて、平成23年度中の地盤沈下対策の工事完了を目指す。	4月～5月…関係団体との意見交換 6月……………概略設計図完成及び関係団体への説明 23年3月…詳細設計図完成	実施スケジュールを踏まえ、次年度以降も必要経費を予算要求していく。	費用対効果等を検討した上で、関係団体の要望等を踏まえ事業を進めていく。	○関係団体等との意見交換 ・県カヌー協会、県グランドゴルフ協会、県トライアスロン協会、東郷湖ドラゴンカヌー実行委員会、湯梨浜町及び観光事業団に対して、多目的広場の改修方針や今後のスケジュールについて説明及び確認済。 ・メダカ池やあやめ池の改修方針についても観光事業団及び東郷湖メダカの会に説明等及び確認済。 ○平成23年度の本工事で着手に向けて引き続き、関係機関と調整中			

平成22年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実績

分野	NO.	取組名	関係課	関係者	実施主体	実施計画	実施スケジュール	財源の確保	実施の方針	進捗状況・実績 (事業効果)	備考
—	25	東郷湖活性化プロジェクト推進会議	企画課	各関係者	推進会議	東郷池をシンボルとした総合的な観光振興、農林水産業振興、環境施策及び文化等を推進する。 広報、ホームページ等で活動状況を情報提供する。 事業一覧表チラシを作成し、町民に配布することにより理解を深める。	年3回予定 ①5月28日(金) ②10月中旬 ③3月中旬 ホームページ随時更新	既定予算で対応	事業を推進していく中で連携が必要なものは、随時調整、検討する。	◆第1回推進会議 平成22年5月28日開催。 ◆第2回推進会議 平成23年1月20日開催。 ◆事業概要チラシを作成し、全戸配布による町民への周知を図った。	